25春闘 賃上げ・人員増・両立支援・ハラスメント
要求で団結、仲間を増やし、改善・実現へ活動を！

県内全単組で、統一要求を提出し要請

2月17～26日、県本部は「春闘統一要求書」提出行動を各単組で実施しました。（文責県本部）

《25春闘～年度末の要求課題と特徴》

1）職務に専念できる賃金・労働条件

【A市】初任給もこれだけ上がると財政の話もある。通常はラスが下がるという認識だったので、初任給改善や昇給運用は検討している。

【B病院】ベースアップ評価料上乗せなど、可能な限り職員に報いたいが経営は苦しい。コロナ前には当分戻らない。

【C社協】国公表を準用しており金額改定は25年4月から実施。これまでは改定分の4月遡及をしていたが、今年度は財政的に困難との判断。自治体補助金削減や介護保険見直しで部分的に人件費の引き下げもある。

2）人員増で長時間労働見直し、サービス拡充

【D市】職員確保は積極的に行う。特に技術職は採用困難で、在職者の年齢構成に偏りがある。

【E水道】民間は資格手当5万円以上のケースもあり、技術職の給与を上げるなど思い切った改革が必要。行政に技術職がいることで業務の執行に効率的・財政的効果がある。中堅職員の声や仕事を応募予定者に届ける方策が必要。高卒採用を現場で育てることや事務職の技術職への変更なども検討課題。

【F市】資格職の条件も緩和し採用を進めているが採用できていない。該当する課からも技術職員として育てるという話をもらい高校生を募集し、今年1人確保できた。

【G水道】人員も必要だが、仕事も見直して必要のない業務は無くしていく必要があると思う。

【H市】採用では応募者だけでなく、親への説明会（web）も行い10組が参加。それ以外にも来年度受験者を対象に、業務説明会を3月に実施。オファー型採用を実施しており、登録情報へ市側から積極的にアプローチしている。土木等職は通年採用とし毎月募集。災害時に土木等職員は大変な戦力だ。

【I町】人員は不足と感じている。特に災害時の職員配置は足りていないと感じているが、ほぼ条例定数上限まで雇っており、これ以上人を増やすわけにもいかない状況。

【J市】昨年度以上に採用したが定年以外の退職が想定を上回り、採用数以上の退職となった。

【K市】実績に基づく時間外の支給は、市長命令を受けていることもあり、改善したい。

【L市】現時点の職員数と財政状況を見ると減員が必要。無駄な業務の整理も行い、対応したい。

【M町】看護師採用はできている。労働時間管理は、各職場対応から人事課対応に切り替えた。町にとって町立病院は欠かせないもの。町が責任を持って運営したい。

3）ジェンダー平等、子育て・治療など両立支援

【N市】人勧に沿った内容で改正。90日を超える一部の治療について病休に通算しないことで改正をした。

【O町】病気休暇上限の増は、確かに検討の余地はある。闘病しながら働かれている職員が一定数いる。

4）ハラスメント対策・働き続けられる職場環境

【P市ほか】ハラスメント対策では、名札は来年度から名字のみにする。

【Q市】カスハラについても不当ではないが、理不尽な要求はコンプライアンス事務局に報告し、全庁、まず幹部職員に伝え、フィードバックしている。

5）非正規・公務公共労働者に関する要求

【R市ほか】病気休暇の10日有給は、国に合わせて改正する。

【S市】病休の有給化、国は10日有給だが、90日無給との兼ね合いで検討はしたい。

春闘要求をアピール！省庁出先機関等に要請

3月4日、全労連四国地区協議会「四国総行動」が香川県高松市で行われました。国の出先機関等に対し、春闘に関する要請を実施。昼休み決起集会では、県本部の堀川書記次長が「西予市立病院・施設の指定管理者制度導入との組合のたたかい」について発言。「春闘要求シュプレヒコール」を行いアピール。午後の人事院四国事務局要請では「住居手当と交通用具使用者の通勤手当の引上げ」「暫定再任用給与が会計年度職員を下回るケースがある。高齢層職員、特に再任用者の給与引上げを」「会計年度職員に正規が担うべき仕事が押し付けられている」など要請しました。

春闘団結し闘おう！賃上げ・人員増で生活改善・地域活性化！決意を表明

3月9日、東予・南予で「25春闘勝利！ブロック集会」が開催されました。東予集会では、西条市の会場に約40人が参加。横井西条周桑労連議長が開会あいさつし、森賀愛媛労連副議長と越智由美子西条市議が連帯あいさつ。続いて、宇摩労連の喜井事務局長、新居浜労連の末田事務局長、西条市職労の越智委員長、今治労連の後藤議長が決意表明。集会後、会場からJR駅前を往復するコースでデモ行進し、アピールしました。

南予集会は、内子町で開催され50人が参加。実行委員会事務局の自治労連県本部南予総支部・力石総支部長が「25春闘では物価高騰を上回るベースアップを勝ち取るために一致団結して闘おう」と開会あいさつ。日頃の活動の報告や春闘に向けての改善のとりくみなどの決意表明を9団体が行い、各団体同士で意見交流することができました。その後、集会宣言の確認と団結ガンバローを行い、25春闘を一丸となって闘おうと確認し、交流企画を実施しました。

【西予】市立病院・介護施設の民営化を前に「西予医療介護職員労働組合」結成

3月19日、西予市職労医療介護支部「定期大会」と自治労連西予医療介護職員労働組合「結成大会」が開催され、組合員29人（執行部・代議員・傍聴）と、来賓8人が参加。昨年7月22日臨時市議会で「3施設の公設民営化」決定され、10月7・8日「組合の方向性説明会」を開催し、職場で意見集約、今年1月28日医療介護支部「臨時大会」で「25年4月1日に組合組織を移行」を確認し、この日に至りました。

■医療介護支部「定期大会」では、福島支部長が「この間の活動で地域医療振興協会（協会）移行後も『組合の存在』が不可欠と強く感じた」とあいさつ。活動報告で、組合員から「協会移行を希望したが不採用となり『納得できない』と訴え、不十分だが雇用継続できた。私一人の問題とせず、要求し続けた組合活動の成果、感謝している」と発言。活動経過・決算報告・監査報告を承認し、新組合に活動を引き継ぐこととしました。

■医療介護職員労働組合「結成大会」では、新組合「規約案」「役員選出案」「運動方針案」「予算案」を提案。活動方針では、①協会や市の関わりなど、不透明な部分の明確化を求め、職員の労働環境の維持・改善に努める。②組合員の意見を反映させ、納得のいく合意をめざすなどを提案・確認。小西委員長など新役員を選出しました。

自治労連愛媛
第578号
発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
j-ehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
（組合員の届読料は組合費のなかに含まれています）

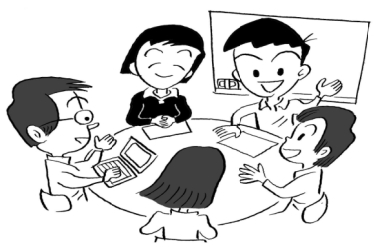
日　程

【3月】
26　県公務員共闘会議県・県教委要請

【4月】
9　第2次最賃デー
12　県本部拡大執行委員会
16　自治労連賃金講座（web）
20　県本部保育部会幹事会
26　四国ブロック青年部常任委員会（web）

【5月】
1　第96回メーデー
3　愛媛憲法集会（松山市民会館）
4　平和行進愛媛・高知コーススタート（～18）
9　自治労連地方組織・組織部長会議（東京）
10　県本部拡大執行委員会
18　全労連最低賃金キャンペーン活動交流集会（web）
22　第3次最賃デー
24　自治労連本部中央委員会（web）
31　自治労連社会保障集会

【内子社協】「子育て・介護関係休暇」学習会
休暇取れる職場へ要求・改善を



内子社協労組（ココロユニオン）は、２月27日執行部対象に学習会を開催。森賀・県本部委員長を講師に、来年度から予定の「子育て・介護関係休暇」等を学習。◎育児時間、◎超過勤務の免除の対象範囲拡大、◎子の看護休暇の取得事由の拡大、◎必要性が生じた職員への配慮、の４点での制度改正の概要説明、あわせて各自治体の「子育て・介護関係休暇」の比較表をもとに、内子町での課題も学習。ココロユニオンの役員から「これらの休暇は、就業規則でも整備はされているが、保育職場では取得者がいないのが現状となっている」などの発言がありました。

【内子】「子育て・介護関係休暇」学習会
制度を学び、地元料理で懇親会

内子町職は２月28日、自分たちの労働条件を学び、よりよい労働環境を勝ち取る力をつけることを目的に、学習会を『フレッシュパークからり』にて開催し、40人が参加。森賀・県本部委員長を講師に「県本部統一要求」の内容、育児・介護関係休暇制度の改正部分の説明を受け、「改正内容と比べ不足があれば、組合で要求する必要がある」と熱弁。また、各世代ごとに取得しやすい特別休暇をまとめた一覧表が配られ、若手職員を中心に、驚きの声もあがっていました。学習会終了後、地元料理を囲んでの懇親会を実施しました。

【伊予&西条】２つの青年部で合同企画
「いちご狩り&モルック」

伊予市職労青年部と西条市職労青年部は３月１日、合同企画「いちご狩り&モルック」を西条市内で開催。今回は親子連れOKで募集し約30人が参加。ジューシーないちごを堪能した後、各市チームでモルック交流戦を楽しみました。「初対面でもモルックが話すきっかけになってよかった」「親子で参加できてよかった」などの声もあり、楽しいイベントになりました。初対面の方とも自然と会話が生まれ、お互いにグッと距離が縮まりました。また、西条市職労からモルックのセットを伊予市職労への贈呈もあり、「伊予市でもモルックを取り入れた企画をしよう」との声もありました。

「今度はぜひ伊予市で、お互いの青年部同士、交流を深めていきましょう」と話しています。

【青年部】反核へんろで「核兵器禁止条約に日本も参加を」署名にとりくむ

県本部青年部は３月９日、自治労連四国ブロック青年部企画「反核へんろ愛媛コース」に11人が参加。第51番札所・石手寺に集合し、山田部長は「反核へんろは、反核ライダーのとりくみを継承するもの。草の根の運動であり、署名など積極的にとりくみましょう」とあいさつ。参加者で石手寺内を散策し、へんろ装束やそろいのビブスを着て、署名活動を開始。青年から積極的に署名を呼びかけるものの、この日は反応があまり良くなく、断られるケースが続き心が折れそうになる場面もありましたが、青年からの真摯な声かけに、１時間弱で21筆が集まりました。終了後には昼食交流会を実施し、親睦も深めました。

【松山】今年も現業正規採用実現！
職場の声と要求活動を報告

松山市職労は３月10日、執行委員会を開催し11人が参加。活動経過で、２月の県本部統一要求書提出で「現業正規採用の継続と再任用職員の給与改善を強調した」ことを報告。また、毎月の県本部拡大執行委員会に役員と組合員がペアで交代参加し、組合会議を体感していることの大切さを再確認しました。協議事項では、①現業職場の36協定更新、②自治労連本部「現業新規採用調査」の報告、③全労連初級学習「わくわく講座」受講検討、④年度末の組合員福利厚生事業の実施などを協議し確認。次回執行委員会で、人事異動後の職場状況と課題を協議します。

福島原発事故を忘れない。
原発回帰の方針は撤回を

３月11日、東電福島原発事故から14年の日、「福島をくり返さない伊方原発はいらない３・11集会&デモ」が松山市内で行われ、約１００人が参加。３月18日松山地裁判決となる伊方原発訴訟について中川創太弁護団事務局長が経過を報告。集会宣言として「政府は福島の事故の反省や教訓を忘れ、原発回帰の方針を鮮明にしたが撤回すべき」「能登地震では海岸線の隆起、避難道路寸断などが起こり、同じく半島に位置する伊方原発でも同様の災害にみまわれる」「私たちは微力ですが無力ではない。大切な『いのち』を未来の世代に引き継ぐために声を上げ続けよう」など集会宣言を採択。集会最後にパネルアピールをし、商店街内をシュプレヒコールでアピールしました。

おたより ありがとう

■今年もお雛様を出しました。子どもが小さい時は出し入れにバタバタしていましたが、今では時間をかけられるようになりました。お雛様を見たら昔と変わらないで家族を見守ってくれているような気がして、ますます愛おしく感じています。（新居浜・西原）

■長男がこの春中学校に入学します。とっくに身長も追い抜かれ、重い荷物もひょいと持って手伝ってくれることがあり、成長がうれしい毎日です。（新居浜・永易）

■長く寒い冬がやっと通り過ぎようとしています桜のつぼみがふくらんでくるのが楽しみ。春のお花見待ち遠しい私です。（西予・宇都宮）

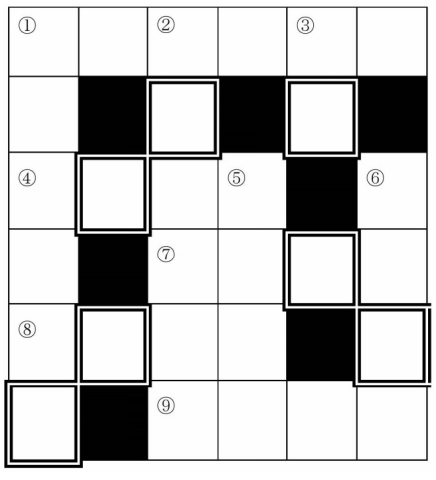
■年度末の雰囲気に呑まれないように、と思いつつも何だかんだで呑まれてしまう今日この頃です。（新居浜・藤井）

■自宅の近くに、山羊を飼っているお宅があります。子山羊の頃は、山羊小屋の屋根に登っていて、とても愛らしかったです。今では、髭が生えてて立派な大人に見えます。（今治・村上）

■他市の活動報告を見てみんなでボードゲームがうらやましいなと思いました。友達とやろうと思います。（新居浜・小野）

■パズル３連続挑戦（笑）です。４回目もあるのかな（笑）正解率１００％。（西予・芝）

マス目を埋め、二重枠の７文字で俳優にして下さい。



出題者　堀川孝行

【ヨコのカギ】
①地獄で紺青の色をしているといわれる鬼
④これを使った電池がスマホなどにも
⑦料理や弁当を調理し配達する店
⑧（二語重ねて）もっと、さらに。
　〇〇〇〇足りない
⑨足の指の先

【タテのカギ】
①福島県内で最多の人口を有する市。
　答えの人の出身
②鳥。十姉妹の読み方は
③栗のいが状のとげに覆われている。
　寿司などにも
⑤撃っても命中しなかった弾丸
⑥いかに短時間で問題を解くか〇〇〇〇勝負

■５７６号のパズルの答えは「ニホンヒダンキョウ」（日本被団協）でした。正解は６通でした。正解者のなかから５人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

永易　優子（新　居　浜）
小林　弘樹（津島吉田）
西原　紀子（新　居　浜）
久保田敬子（新居浜社協）
藤井　隆嗣（新　居　浜）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから５人の方に図書カードを進呈いたします。
【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係　〒７９０-０００３　松山市三番町８丁目10-２（ＦＡＸ、メールも可　１面題字下に記載）
【締切り】４月27日【発表】５８０号（５月号）